

令和2年度
教育委員会の事務執行に関する点検評価報告書

(令和元年度対象)

深谷市教育委員会

施策名		スポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備		点検評価表 作成課		生涯学習スポーツ振興課		
施策の方向性		○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、より一層の充実した管理・運営を行っていく。 ○指導者の育成を通じ、スポーツ・レクリエーション活動に、市民が積極的に取り組めるような環境を整備する。						
施策に関連する 主な取組		○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実						
		○指導者の養成						
指標名		社会体育施設の利用者数						
成果指標	指標の説明	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値
	総合体育館(ビッグタートル)などの社会体育施設の年間利用者数	538,000人	455,795人	478,391人	486,736人			
		現状値 (平成28年度)	538,000人		→	目標値 (令和4年度)	540,000人	

令和元年度 重点施策	○社会体育施設整備管理事業 ○外部指導者の活用(学校教育課)	
令和元年度 実績	<p>○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風19号の災害復旧のため、植松グラウンド、川本グラウンド・ゴルフ場、川本天神グラウンドテニスコートの整備工事を実施した。(植松グラウンド、川本グラウンド・ゴルフ場については令和2年度に事故繰越) ・上本田グラウンドバックネット撤去工事を実施した。 ・川本天神テニスコート照明修繕を実施した。 <p>【利用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度利用者実績 486,736名(平成30年度実績 478,391名) (総合体育館:193,280名、市民体育館:8,144名、B&G:13,340名、市営グラウンド:77,134名、公民館体育室:194,838名) <p>○指導者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団認定員研修会に51名、認定員養成講習会に40名が参加した。 ・深谷アスリートクラブ事業(小学校体育授業へ大学生等指導者派遣、スポーツ教室の開催及び支援、大会・イベントの開催)を実施した。 	
総合評価	A	※総合評価の目安 S:計画以上に進んでいる A:ほぼ計画通りに進んでいる B:あまり進んでいない C:まったく進んでいない
課題	経年による施設の老朽化が進んでおり、毎年いずれかの施設に改修を要する状況となっている。	
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕箇所数は年々増加傾向にあるが、限られた予算のなかで適切に対応できた。 ・公民館体育室への利用を促していることにより、成果指標である社会体育施設の利用者の実績値が前年と比べ増加することができた。 ・指導者養成講習会の開催により、スポーツ指導者の幅広い知識の習得や指導活動を支援することができた。 ・以上のことから、総合評価は「A」とする。 	

重点施策評価表

重点施策名	社会体育施設整備管理事業		担当課	生涯学習 スポーツ振興課
概要	総合体育館(深谷ビッグタートル)を中心に市民が積極的にスポーツ・レクリエーション活動を行える環境を整備する。			
令和元年度 の実績	【深谷市総合体育館指定管理業務委託】 ・受託者:ふかや体育施設管理グループ ・深谷市都市公園、花園農業者トレーニングセンターとともに指定管理者による管理を行っている。 ・平成29年度から令和3年度までの5年間で指定管理者を指定している。			
	指標名	実績値	指標別コメント	
	施設管理上の事故件数	0件	施設設備の不備による事故は発生しなかった。	
	年間利用者数	290,364人	利用者及び利用件数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により2月下旬以降の利用者は減少した。	
年間利用料収入	48,800,920円	興行大会などが開催され、直近5年間で最高収入額となった。		
担当課 評価	評価区分	評価コメント		
	3	指定管理者により適切に管理運営されているが、施設の各設備に経年による老朽化が見受けられ、計画的に改修することが今後必要となる。		
評価区分の考え方 (1:現状継続 2:見直して継続 3:拡充・重点化 4:事業達成により終了 5:廃止を検討)				

施策名		スポーツ・レクリエーションを通じた健康・ふれあいづくりの推進		点検評価表 作成課		生涯学習スポーツ振興課		
施策の方向性		○市民ニーズに合わせたスポーツ・レクリエーション活動の充実を図る。 ○市民の健康づくりとふれあいの機会を創出する。						
施策に関連する 主な取組		○スポーツ推進委員との連携の強化						
		○市民の健康づくりとふれあいの機会の創出						
指標名		スポーツやレクリエーションを行っている市民の割合						
成果指標	指標の説明	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値
	深谷市民まちづくりアンケートにおいて、スポーツやレクリエーションを「日常的に行っている」「ときどき行っている」と答えた市民の割合	40.0%	42.6%	38.0%	39.3%			
		現状値 (平成29年度)	40.0%		→	目標値 (令和1年度)	43.0%	

令和元年度 重点施策	○健康とふれあい創出事業	
令和元年度 実績	<p>○スポーツ推進委員との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員と協力して、みんなのふっかちゃん体操の普及・障害者スポーツ・軽スポーツに取り組んだ。 ・公民館事業としてのスポーツ・レクリエーション事業へスポーツ推進委員を派遣し、スポーツ・レクリエーション活動の充実を図った。 <p>○市民の健康づくりとふれあいの機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の更なる健康増進のため深谷市歩け歩け協会との市民協働事業により、ウォーキングイベントを開催した。 ・市内文化施設を巡る常設コースなどを設置し、市民へ周知を図った。 	
総合評価	A	※総合評価の目安 S: 計画以上に進んでいる A: ほぼ計画通りに進んでいる B: あまり進んでいない C: まったく進んでいない
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の次年度以降の確保や指導可能種目数を増加させ、スポーツ指導体制の充実を図る必要がある。 ・市内文化施設を巡る常設コースについて、市内12地区全てに設置していく。 	
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における活動可能なスポーツ推進委員として26名を委嘱をすることができた。 ・スポーツ推進委員の一人当たりの活動回数は20回であり、地域においてスポーツ種目実技指導や行事の協力・支援活動を一人一人が積極に取り組むことができた。 ・市民協働事業によるウォーキングイベントには多くの参加者があり、健康増進やふれあいの機会の創出ができた。 ・以上のことから、総合評価は「A」とする。 	

重点施策評価表

重点施策名	健康とふれあい創出事業		担当課	生涯学習 スポーツ振興課
概要	「小山川はつらっプロジェクト」などを活用したウォーキングの推進及び「ふっかちゃん体操」の周知を図り、市民の健康増進とふれあいの機会を創出する。			
令和元年度 の実績	<p>【スポーツ教室・イベント開催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング推進事業(市民協働事業者:深谷市歩け歩け協会) ・ウォーキングイベント(ふっかちゃんわくわく市民ウォーキング) <p>10月6日(日)71名参加、12月14日(日)82名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマップの作成 ・市内文化施設を巡る旧中山道北コース、川本コースの常設コースについてマップ作成 			
	指標名	実績値	指標別コメント	
	ウォーキングコースの設置数	6コース	市内12地区すべてのコース設定が課題である。	
	ウォーキングイベントの開催回数	2回	市民協働事業者と協力し安全に開催できた。	
ウォーキングイベント参加者数	153人	多くの市民がイベント参加した。		
担当課 評価	評価区分	評価コメント		
	3	市民協働事業として安全に開催することができたが、今後も安全に配慮して開催できるよう事前準備をする必要がある。また、市内各所に5km程度の市内文化施設を巡る常設コース設置をしていきたい。		
評価区分の考え方 (1:現状継続 2:見直して継続 3:拡充・重点化 4:事業達成により終了 5:廃止を検討)				

施策名		スポーツ・レクリエーションによるまちの活性化		点検評価表 作成課		生涯学習スポーツ振興課		
施策の方向性		○スポーツ・レクリエーション団体やスポーツ推進委員を核に、本市の地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を推進する。 ○スポーツ・レクリエーション大会・教室などへ参加するきっかけを作るため、情報の提供・周知を図る。						
施策に関連する 主な取組		○スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実						
		○スポーツ・レクリエーション団体の活動支援						
指標名		東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップを契機としたイベントの参加者数						
成果指標	指標の説明	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値
	東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップに関係した各種イベントなどへの参加者数	3,000人	10,955人	12,038人	15,322人			
		現状値 (平成28年度)	3,000人		→	目標値 (令和4年度)	4,000人	

令和元年度 重点施策	○スポーツ教室・イベント開催事業 ○ラグビーワールドカップ2019関連事業	
令和元年度 実績	○スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実 ・第14回ふかやシティハーフマラソンは新型コロナウイルス感染症の拡大の予防のため、中止となった。 ・アスリートクラブ事業によるジュニアスポーツフェスタやふっかちゃんカップジュニアバレーボール大会など多くの事業を開催した。 ○スポーツ・レクリエーション団体の活動支援 ・体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団の加盟団体が主催する各種大会・教室等の広報支援として広報ふかや等への掲載を行った。	
総合評価	A	※総合評価の目安 S: 計画以上に進んでいる A: ほぼ計画通りに進んでいる B: あまり進んでいない C: まったく進んでいない
課題	がんばる地元アスリートを支える体制を構築していく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎながらの活動方法を模索していく必要がある。	
評価コメント	・成果指標である東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップに関係した各種イベントなどへの参加者数は、平成30年度に比べて増加した。 ・ジュニアスポーツフェスタなどの多くの事業を開催し、年間参加者数を増やすとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実を図ることができた。 ・以上のことから、総合評価は「A」とする。	

重点施策評価表

重点施策名	スポーツ教室・イベント開催事業	担当課	生涯学習 スポーツ振興課
概要	「ふかやシティハーフマラソン」等イベントの開催及び小学生のスポーツ環境推進のためアスリートクラブ事業の充実を図る。また、2020年オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致活動を継続して実施する。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回ふかやシティハーフマラソン(新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止 参加申込者は6,188名) ・鴨んバレー大会、体力測定、がんばル〜ム(子どもスポーツ支援)、ランニング教室、ジュニアスポーツフェスタの参加者数 1,441名 		
	指標名	実績値	指標別コメント
	第14回ふかやシティハーフマラソンに参加したボランティアの人数	0	新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止となった。
	ジュニアスポーツフェスタ参加人数	1,000名	小学校低学年を中心に18種目のスポーツを一度に体験できるイベントを開催した。
	市民ランニング教室	49名	マラソン大会参加、また健康増進のため、初心者を対象とした教室を開催した。
担当課評価	評価区分	評価コメント	
	1	第14回ふかやシティハーフマラソンは、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、中止となった。スポーツ未経験の子ども達に色々なスポーツを体験してもらおうジュニアスポーツフェスタについては、各団体等の協力により盛大に開催できた。今後は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎながらの活動を模索していく必要がある。	
評価区分の考え方 (1:現状継続 2:見直して継続 3:拡充・重点化 4:事業達成により終了 5:廃止を検討)			

重点施策名	ラグビーワールドカップ2019関連事業	担当課	生涯学習 スポーツ振興課
概要	ラグビーワールドカップ2019日本大会開催にあたり市民の気運醸成と教育プログラムを活用した市内小中学生対象の観戦ツアーを実施することにより子ども達がグローバルな視野を育む機会を創出する。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 【深谷ラグビーフェスティバルの開催】 ・市民協働事業として、深谷市ラグビーフットボール協会との協働により開催した。 ・イベント内のラグビー教室として、深谷高校ラグビー部員の協力を得て実施した。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 【ラグビーワールドカップ2019教育プログラム】 ・市内小・中学生を対象に、教育プログラムを活用したラグビーワールドカップ2019の観戦ツアーを行った。小学生については深谷ラグビーフェスティバルへの参加を、中学生についてはレポート提出を求めた上で、熊谷会場での試合を観戦した。 		
	指標名	実績値	指標別コメント
	深谷ラグビーフェスティバル参加人数	720人	ラグビーの普及・促進と、ラグビーワールドカップ2019大会を盛り上げるため実施した。
	ラグビーワールドカップ2019教育プログラム参加者	217人	小・中学生を対象に、事前学習と観戦を行った。
担当課評価	評価区分	評価コメント	
	4	ラグビーワールドカップ2019大会の熊谷会場の試合を観戦することにより子ども達に対しグローバルな視野を育む機会を創出できた。大会の終了に伴い、事業達成により終了とする。	
評価区分の考え方 (1:現状継続 2:見直して継続 3:拡充・重点化 4:事業達成により終了 5:廃止を検討)			